

授 業 科 目 名 (英語名称)	必修の区分	単位数	開 講 年 次
環境宗教学 II (Environmental and Religious Studies II)	選択	2	2-4
講 師 名	所 属	オフィスアワー・場所	連 絡 先
岡田真美子	環境人間学部	水曜日 11.00-12.30 E303	okada-hisyo@shse.u-hyogo.ac.jp
講義目的	日本的知的資産による生命ネットワーク研究を通じて、安心安全社会、成熟社会のよりよい地域環境のあり方を考究する。		
講義内容 授業計画	生老病死の環境学。生命に関する知見(1-2講)、老病に関する宗教社会史(4-6講)、死者への作法(7-9講)、いのちの教育(11-12講)を知ることを通していのちの貴さを学ぶ。		
	1	10/05	プロローグ：ワークショップ「老いと死について考える」
	2	10/12	生と性
	3	10/19	いのちのリレー—捨身と臓器提供
	4	10/26	老いと看取りの環境学—地域介護に備える
	5	11/02	病と隔離—忍性菩薩と綱脇龍妙
	6	11/16	人口圧と疫病の歴史
	7	11/30	吊いと葬りの環境学—嫌悪施設を考える
	8	12/07	いきものを食べる作法—動物供養
	9	12/14	モノのいのち論—器物供養
	10	12/21	いのちを救う知恵—環境防災
	11	01/11	いのちを救った歴史—歴史教育と国際環境
	12	01/18	いのちの循環
	13	01/25	エピローグ：ワークショップ
	14		試験は行わずレポート
テキスト 参考文献	教科書は使わない。		
成績評価 の基準	レポートによって評価する。講義への参加状況も考慮する レポート提出期限 2月1日(金)12.00 提出先:F301 高石理香子さんに手渡し。 フェイスシートは1月に配布するので、必ずこれを表紙につけること 分量 A4(40字×40行)3枚以内 図版とも。		
履修上の 注意 履修要件	毎時間コミュニケーションカードを配布回収し、次回返却する。このカードとレジュメはきちんとファイルしてゆくこと。(◎最終回にファイリングしたものを持参してもらい、これを用いてワークショップをする)		
備 考	質問届けその他はメールで提出すること。件名：2007 環境宗教学 II (学籍番号) あて先は okada-hisyo@shse.u-hyogo.ac.jp		